



おにぎり通信

2023年2月11日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

2月14日はバレンタインデーです。今日の訪問ではその日に先立ち「四ツ谷おにぎり仲間」からささやかなプレゼントがありますので、受け取ってください。バレンタインデーの起源にはいろいろな説があり、はっきりしたことはわかりませんが、大切な人に心を寄せる日と考えるのはいかがでしょうか。



◇福祉活動報告

Aさん 千代田区の福祉事務所で生活相談をし、自立支援センターに入所されました。

福祉行動を希望の方は、

おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階



おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ
おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい

多くの子どもたちが「生きづらさ」を抱えて生きていると言われています。
現在の日本では子どもの自死が後を絶ちません。子どもは嫌ならば泣けばいい、
逃げればいい、「助けて」と言っていそお思われませんか。

しかし、そうできず、そう言えず死を選んでしまう子どもが多くいます。このことに対し、NPO法人抱樸の理事長であり、牧師である奥田知志さんは原因の一つが『大人が「助けて」と言わないからだ』と分析されています。奥田さんは子どもたちに生きてほしい、そして「助けて」と言えることの大切さを伝えるため、元野宿をされていた方々にご自身の経験、「助けて」と言うことができた経験を伝えてほしい、証言してほしいとお願いしました。そのことが「生笑一座」のはじまりです。

5人の方々が奥田さんの呼びかけに応え、子どもたちにメッセージを伝えるための一座が結成されました。その一座の名前が「生笑一座」です。この一座のメンバーの方々は「生きてさえいれば、いつか笑える日が来た」と、ご自身の身をもって子どもたちに苦しかった経験、「助けて」と言えた日の経験、そして希望の言葉を語ってくださいます。子どもたちは真剣にメンバーの言葉に耳を傾けます。公演の後のお正月、「生笑一座」のメンバーのもとには公演を見た小学生から年賀状がたくさん届きました。「支える人と支えられる人」そんな固定された区別はなく、一座のメンバーと子どもたちが互いに元気づけ合います。奥田さんは「出会いとは、かくもフェアなものだ」と思われたと言います。

| 日付 | 12日 (日) | 13日 (月) | 14日 (火) | 15日 (水) | 16日 (木) | 17日 (金) | 18日 (土) | 19日 (日) |
|-------------|------------------|---------------------|--------------------|-----------------|-----------------|--------------------|------------------|---------------------|
| 東京都 千代田区 | 晴 15/3 10% | 曇時々雨 11/5 60% | 晴時々曇 9/4 40% | 晴 7/3 20% | 晴 7/2 20% | 晴時々曇 8/0 30% | 曇 11/2 40% | 晴時々曇 15/6 50% |



よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようびごごじ
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)